

金城 ヨシヒデだより

NEW KOMEITO
公明党

名護市議會議員 金城善英 議會報告

第 88 号

令和 5 年 10 月 20 日
発行者 金城 善英
住所 名護市大中 1-15-19 203
Tel 0980-54-1259
E-mail: yoshihide@woody.ocn.ne.jp



ごあいさつ

朝夕心地よい季節になりました。皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

去る10月14日（土）に名護市民会館において、国立自然史博物館誘致沖縄シンポジウムが開催されました。沖縄県北部振興会はじめ国、県、市町村議員を含む県内自治体のリーダーや各種団体からも多くの方々の参加がみられました。

月5日に、48人の全議員が所属する「県議会国立自然史博物館設置促進議員連盟」も発足しています。沖縄の生物多様性を持つ環境の保護、人材育成、地域の発展などにつなげる大きな弾みになることを願っています。

私自身、前回名護市6月定例会で機運の醸成と誘致に向け、一般質問で取上げました。

今後も誘致に向けてあらゆる機会を捉えて努力していきたいと決意しております。皆様の益々のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げます。

議會報告



一般質問 QR



金城善英 HP

イ、済井出区436番地付近海岸の土砂崩れにより排水路の流末が閉塞しているが、市としてどのような対応ができるのか ウ、済井出区では6日間のうち1日を除き長時間停電していたが、その原因と今後の対策について伺う

原因と今後の対策について伺う

答弁 ア、民地における当事者間で話し合い、解決することが原則 イ、農業用排水路の閉塞は復旧した ウ、長時間台風により復旧作業ができないこと二七。高庄線に係る持続接続や新泉

質問 等の剪定、除去などを実施する
(2) 家電製品のエアコン、冷蔵庫、乾燥機、
湯沸かし器、CDプレーヤー、照明器具が破損し
たが、それは引込線の中性線の断線が原因と言わ
れている。これらの損害に対する補償はないのか。
また、被災者の生活支援策はないのか

答弁 損害補償は無いが、生活支援については、
生活福祉資金貸付制度があり、名護市社会福祉
協議会が窓口になつていて

二、花いっぱいのまちづくりについて

質問（1）本市は「花の里づくりの会」を中心に花いっぱいのまち「フラワーシティーなご」を推進していくが、二つ手始めに花壇、花壇等

の植栽管理など多岐にわたります。そこで、年間の主な活動内容について

5月定例会一般質問から要旨

（二）では、今定例会でのヨシヒデの一般質問の要旨を（一）報告いたします。

一、防災・減災について

持つ環境の保護、人材育成、地域の発展などにつなげる大きな弾みになることを願っています。

私自身、前回名護市6月定例会で機運の醸成と誘致に向け
て、一般質問で取上げました。

質問(1) 8月1日から6日にかけてUターンしながら沖縄本島周辺を長時間襲った台風6号による済井出区の被災状況について

ア、 済井出232、233番地海岸側のナンヨウスギやモクマオウが民地や住宅に倒れているが、市としてどのような対応ができるのか

質問（2）市観光課が花いいっぱいのまちづくりを所管しているが、その役割について伺う
答弁 花の里づくりの会へ業務委託をし、連携して全庁的に協力を呼びかけ、市民意識の向上を図っている

質問（2）市観光課が花いいっぱいのまちづくりを所管しているが、その役割について伺う
答弁 花の里づくりの会へ業務委託をし、連携して全庁的に協力を呼びかけ、市民意識の向上を図っている

(1面からつづく)

質問 (3) 7月下旬に経済建設委員会で福岡市の市長が先頭になって取り組む「一人一花運動」、「企業一花壇運動」を視察研修してまいりましたが、学ぶべきことが多いと感じました。そこで、市の担当課や花の里づくりの会でも先進地である福岡市の視察研修を検討してはどうか伺う

答弁 本市の花いっぱい運動を推進する上でも貴重な機会であると考えます。情報収集を行ない、参考にしていただきたい

質問 (4) 市の玄関エリア（喜瀬区）にワーケーション拠点施設が整備されるが、ウェルカム花壇を整備する計画はあるか伺う

答弁 令和6年度に建築、土木工事を予定しており、周辺リゾートホテルの景観との調和を考慮し本市の玄関口としての環境整備を実施する

質問 (5) 県立北部病院敷地南側に接する県道71号線の歩道沿い擁壁の管理について伺う

答弁 擁壁の活用の在り方について県北部土木事務所と連携を図っていく

三、小中学校における経済的負担の軽減策について

政府は今年、令和5年（2023年）6月13日に「こども未来戦略方針」を発表しましたが、

冒頭の「こども・子育て政策の基本的考え方」、「日本のラストチャンス」2023年に向けて、「少子化は、我が国が直面する、最大の危機である」とうたわれております。そこで、経済的な観点から保護者が安心して子どもを育てる負担軽減策について以下のとおり伺う

質問 (1) 就学援助について

経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、必要な援助を行うことにより義務教育の円滑な実施を図ることを目的とする制度に申請し、認定された者の数（要保護・準要保

護）と援助額を伺う

答弁 令和4年度が幼・小・中学生の（要保護・準要保護）合計908名で支給額は六千七百六十万六千二百六十五円となっている

質問 (2) 特別支援教育就学奨励制度について

小中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒を持つ保護者の経済的負担の軽減を目的とし、学用品費等を援助する制度の認定者数と援助額を伺う

答弁 令和4年度が小・中学生の合計202名で支給額は七百六十三万三百九円となっている

質問 (3) 義務教育課程における児童生徒に係る学用品費等を完全無償化することについて、必要な予算額を伺う

答弁 学校へ納める校納金の他に、体育着や制服、卒業アルバム、修学旅行費などの必要な予算額は合計2億3710万8500円となる

四、放課後児童クラブについて

質問 (1) 放課後児童クラブ利用料の軽減ができるか伺う

答弁 今年度から家賃が発生している放課後児童クラブの家賃分の経費を利用料に還元する

補助事業を実施している。23クラブ中、16クラブが補助対象で、月額の利用料一人当たり平均2,800円程度の軽減となっている

質問 (2) 本市における学校敷地内にある放課後児童クラブの割合を伺う

答弁 市内の放課後児童クラブ23カ所のうち、小学校敷地にあるクラブは、真喜屋小、名護小、ひるぎ学園、緑風学園の4校で割合は約17%

五、保育士の安定的な確保について

質問 (1) 現在の待機児童数と必要な保育士数を伺う

答弁 令和5年4月1日現在の待機児童数は、

56名でそのうち1歳児だけで40名の待機になっている。1人の保育士が保育できる子どもの数は0歳児が3名、1～2歳児が6名、3歳児が20名、4歳以上が30名で、市内46認可保育施設3,459名の定員を満たすために必要な保育士数はあと60名必要

質問 (2) 本市の保育士の確保策と成果について伺う

答弁 「市内保育所等見学ツアー」「保育士試験対策講座」「保育士正規職員雇用支援事業」「保育士等緊急確保事業」「県外保育士誘致支援事業」を実施しており、確保策の入り口として効果の高い事業と考えている

質問 (3) 保育士の担い手確保や定着のために奨学金返還支援制度を導入してはどうか伺う

答弁 今後、保育士確保事業を継続しながら、奨学金返還支援に係る事業等も含めた他市町村における取組も参考にしつつ、より効果的な事業展開を図っていく



日本初の国立自然史博物館を沖縄に! 誘致シンポジウムが名護で開催された。2023.10.14

やさしく、深く、面白く、役に立つ
政治を毎日わかりやすくお伝えする
公明新聞を読んでみませんか？

日刊（1ヶ月 1,887 円/税込）

激しく移り変わる社会・政治の動きを正確な報道で伝えてまいります。

お申し込みは 金城ヨシヒデ 0980-54-1259